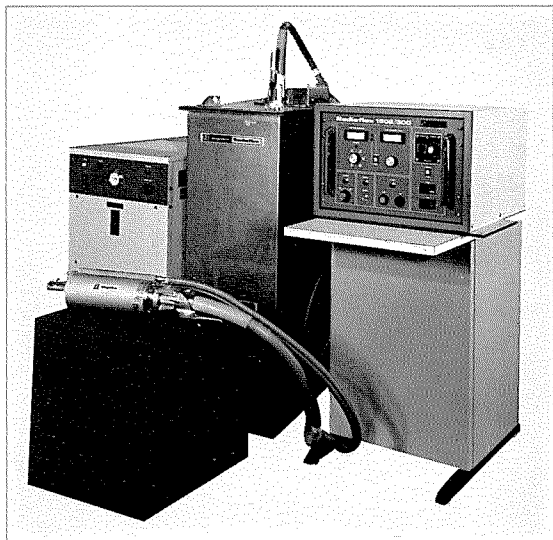


理学/据置式X線装置 ラジオフレックス150S形, 300形



溶接構造物、鋳物部品等の品質保証のため、全数をX線透視検査することが要求される。この場合直接撮影法では検査スピード、コストの点で対応しきれない。そのためX線テレビシステムによる透視試験が有効であるが大幅検出度の点で十分でなかった。今回理学電機が開発した検出能力のすぐれたX線テレビシステムの小焦点、高出力、高安定度、連続使用可能なX線発生装置

は制御システムが全て自動化されており、操作性、作業能率、寿命の点で従来のものよりはるかに優れております。

1. 特長

(1) 24時間連続使用が出来ます。

(2) X線の発生線量が大さい。

コンスタントポテンシャル(平滑直流)方式の採用、により脈動率が小さいため多量の線量が得られます。

(3) 安定度、再現性及び操作性が良い。

管電圧、管電流は高圧側より検出し自動制御されているため安定した出力が得られます。制御装置は自動化されています。

(4) 保護機構が完備

自動エージングシステムの採用、および各種保護回路の装備により無理な操作や危険な取扱いによる事故が防止されます。

2. 主な仕様

	ラジオフレックス 150S形	ラジオフレックス 300形
管電圧	25～150kV	50～300kV
管電流	4 mA	4 mA
焦点寸法	0.5×0.5mm	1.5×1.5mm
タイマー	0.1～99分 (デジタル式)	0.1～99分 (デジタル式)
電源	AC単相210V±10% 50/60Hz	AC単相210V±10% 50/60Hz

発行：理学電機株式会社

〒101 東京都千代田区神田駿河台2-8

瀬川ビル5F 電話(03)295-3311(代表)

編集：理学電機ジャーナル編集委員会

制作：株式会社R・A・P